

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 89

2021.February

完成現場報告 藤枝市／

『たちばな保育園 子育て支援センター ふれあいルーム』

五感を刺激する木の施設

五感を刺激する木の施設

完成現場報告

藤枝市／

『たちばな保育園 子育て支援センター ふれあいルーム』

文・写真／ココロポ 山崎健治



子育て支援室2階：

4本の方柱で支えられた格子天井。天井材には木毛セメント板30mmを使い、格子には下地材で用いられる野縁材(杉30×40)を利用した。格子天井は子供たちの声を抑える吸音効果を生み、また、繊細なラインが清々しい空間を演出している。

令和2年の春、藤枝市たちばな保育園内に、地域木材をふんだんに使った、子育て支援センターが完成しました。元々園庭の一角に建設されていた施設の老築化に伴い、新しい子育て支援センターの建て替え計画が行われ、木造二階建ての施設に生まれ変わりました。計画当初は鉄骨造の施設が計画されていたのですが、鉄骨材料の高騰や、高力ボルト不足などの問題から不調となり、改めて計画を見直す事になったと伺いました。ちょうどその頃、同市内で当社が設計監理を行った『青葉ひよこ保育園』を見学する機会があり、子供たちの通う施設として、木造施設の可能性を強く感じたと話してくれました。

近年、木造施設の注目度が上がり、低層の施設を中心に全国で建設が広がっています。保育園や介護施設などの社会福祉施設をはじめ、庁舎や小学校などの公共施設も木造で建設される事が多くなっています。この背景には、環境意識の高まりと合わせて、今まではあまり行われてこなかった木造の技術の進歩が挙げられます。構造や防火性能の研究や実験が進み、大空間や高層建築も可能になってきました。地震国の日本では、他国に比べてまだまだ発展途上ですが、近い将来、木造タワーも建築可能になると言われています。近年の木材利用は、技術の進歩と合わせて、森林の成長も大きく関係していると思います。戦後植林され

た全国の山の木が伐期を迎え、日本には良質な木材が豊富にあります。戦後の復興、高度成長の社会では、海外の輸入木材に頼った建設が行われてきましたが、植林後50年、60年経過した現在は、日本国中どここの山を見ても木であふれ、もはや、海外の木材に頼らなくても十分なストックがあると言われていきます。ですが、人件費や搬出コスト、自然素材ならではの材料特性がネックとなり、既製品を使い慣れた現代の仕組みの中ではまだまだ特別な事として扱われている事も事実です。

今回の子育て支援センター建て替えについても、当初は誰もが違和感なく鉄骨造を考えていたと思います。住宅は木造のイメージがありますが、ちよつと大きな施設となると、鉄骨やコンクリート造が一般的だと考えてしまいがちで。豊富で優良な木材が近くにある事、子供たちが毎日通い生活する建物という事などを考えると、木造はごく自然な選択だったと思います。山を守り育てている山主さん、木を生かす製材屋さん、高い技術を持った大工さんや職人さんなど、私たちの地域には、まだまだ木造建築を支える人たちがたくさんいます。木造施設の建築を見ていると、そんな人の力が強く感じられ、木と共に、未来へのプレゼントの様な木も思えてきます。では、今回はどの様な木の施設が出来たのか？ 設計コンセプトと合わせてご紹介します。



提案模型：

プロポーザルの際に製作した建物模型。片流れ屋根や杉板の外壁などは提案時から変わらない。デッキやテラス屋根も、園庭と共に時間をかけて製作していきたいと話している。

丸テーブル：

方立を木の枝に、格子からの光を木漏れ日に見立て、子供たちの集まるテーブルをつくった。天窗には遮熱ガラス+複層ガラスを用い、夏場の熱を遮り、極力光だけを取り込んでいる。



建物全景：

山小屋をイメージした子育て支援室は園庭の一部に建設された。今後時間をかけてデッキテラスや植栽を増やし、建物と園庭をつなげた楽しいスペースをつくっていく。

遊びの中で五感を刺激する

鉄骨造から木造へ変わった事で、改めて設計プロポーザルが行われました。数社の提案の中、園庭の中に立つ山小屋をイメージした当社の案が採用されました。今回は子育て支援センターの提案ですが、園庭と一体の計画とし、ウッドデッキや植栽、遊具などを含んだ提案を行いました。

今回の施設設計の中で重要視した内容は、自然光での明るさと合わせて、光の変化を感じる建物にしたいと考えた事。感受性の強い子供たちの施設という事で、四季や天候、時間に変化する光を体感し、遊びの中で五感を刺激する施設をつくりたいと考えました。光の設計の中で一番工夫した部分は、木漏れ日をイメージした天窗です。格子状に組まれた木材の隙間から光が差し込み、季節や時間と共に変化する仕掛けをつくりました。完成後に柱を囲んだ丸テーブルに先生が小さな椅子を並べてくれました。子供たちが輪になってお絵描きをしている様子が見え、とても楽しそうな場所が出来ました。天井の格子形状は吸音に関しても効果がありますが、より効果が出るように格子の上に木毛セメント板と呼ばれる板を貼りました。木毛セメント板は、木とセメントと水でつくられた自然素材で、その形状から吸音の効果があります。ダイレクトに見えると抵抗があるので、格子の隙間か

ら見えるようにして使いました。子供たちの集まる施設は吸音について注意深く設計する必要がありますが、今回の様に吹き抜けや大きな空間のある施設では致命的な問題にもなりかねません。デザインと性能はどんな時も同時に考え、バランスの良い設計が大切だと考えています。

自然光を取り入れた明るい室内環境に加え、保育園からの要望は、10組程度の親子が余裕を持って遊べ、ちよっとしたイベントが行える空間がある事、また遊び心を取り入れた施設にしたいと希望がありました。施設に通う子供は0歳から3歳までの未就園児となるため、成長に応じて様々な変化のある遊び場をつくりました。床を一段下げたくぼみ床スペースは、柔らかなクッションで床をつくりました。小さな子供が中に入って遊び、お母さんが段差に腰掛けて見守るイメージです。また、南面の窓下には畳を敷いた小上がりスペースを設けました。段差に腰掛けたり、上を走ったりと、ちよっと大きな子供が活動的に遊ぶスペースをつくりました。畳下には引き出しを取り付け、遊び道具などを収納できる仕組みになっています。その他、階段下にかくれんぼスペースをつくったり、園長先生のアイデアでポルダリングの出来る壁をつくりました。一人一人の性格や年齢などによっても遊びは違いますが、安全性を重視しつつも刺激のある仕掛けをつくっていきました。



くぼみ床スペース：
乳児の遊び場として、クッション床で出来た、くぼみ床スペースをつくった。子供たちは中で遊び、お母さんたちは段差に腰掛けておしゃべり…をイメージしている。



大きな木の空間は、遊び場がいっぱい

ちょっとした段差や隙間、木の香りや肌ざわりなど、子供たちにとっては何でも新鮮でワクワクするもの。おもちゃが無くても、上がったたり下がったり、隠れたり覗いたりするだけで、色々な事を感じ、自然と遊び方を身につけていきます。遊びの中では、転んだり滑ったりする事もあるけれど、木の床は優しく痛くありません。大きな木の空間を目一杯使って元気に遊んでください。

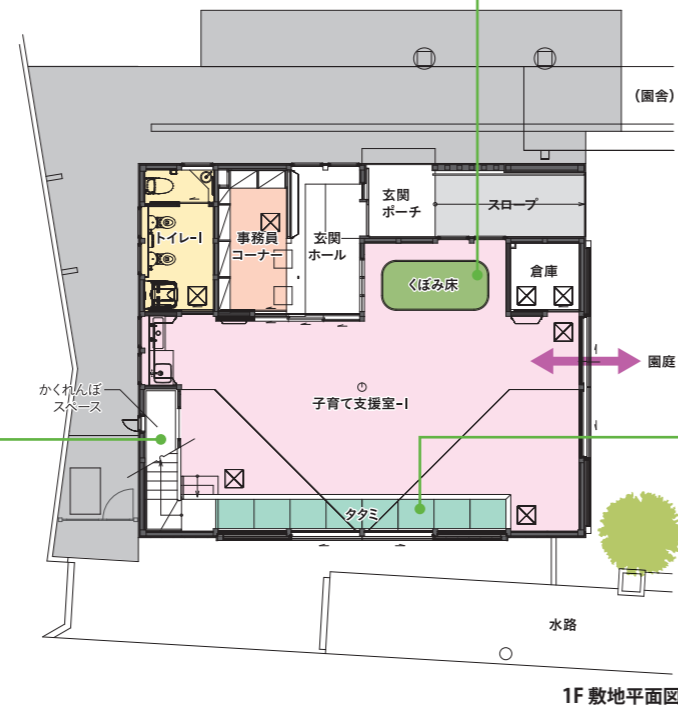


子育て支援室1階：
園長の要望で子供たちが遊べるボルダリング壁をつくった。カラフルな色調が木の空間に楽しさを演出している。

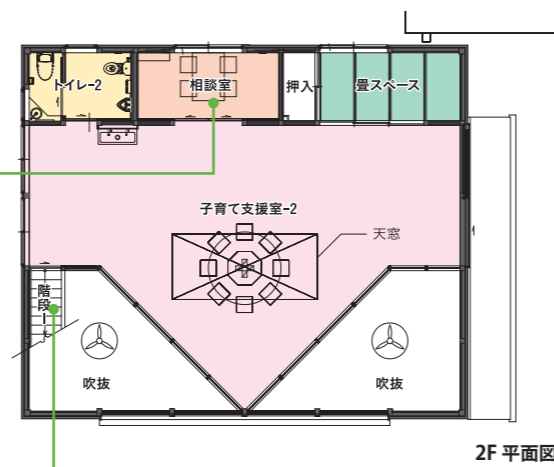
かくれんぼスペース：
階段下スペースを利用して、子供たちが隠れて遊ぶスペースをつくった。入り口のアーチや丸い窓に園のイメージカラーを使い、可愛らしさを演出している。



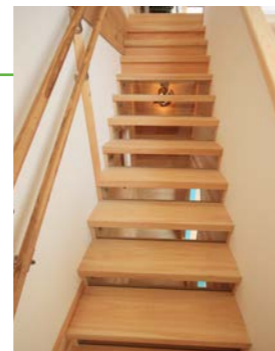
かくれんぼスペースの内部は一段下がり、床には名栗材を使った。足触りが気持ち良く、他の部屋と違った感覚が楽しい。内部は全て杉板張り。



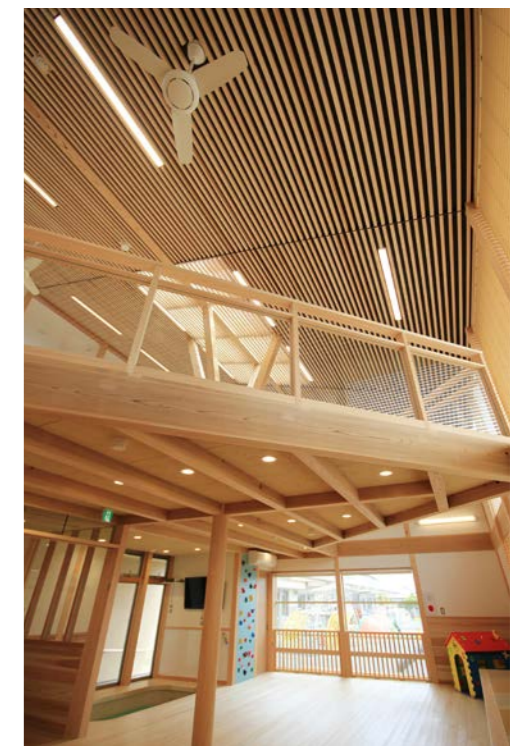
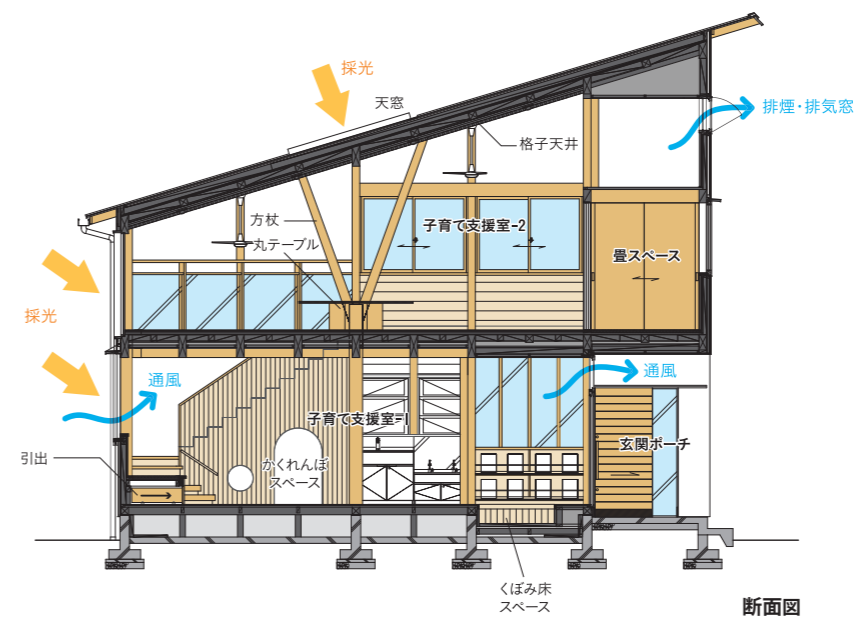
1階南面：
畳を敷き詰めた小上がりスペースは、子供の遊びと収納を兼ねている。南面には、大きなガラス窓を壁一面に配置した。燦々と太陽の光が室内に入り、明るく暖かい室内となった。



相談室：
2階の一部に相談室をつくった。園の事や子供の事など、何でも気軽に相談出来る。内部には小さなキッチンがあり、職員の休憩スペースも兼ねている。



階段の蹴上板部分をガラスとし、かくれんぼスペースから覗ける工夫をした。ちょっとした工夫だが、子供たちは何でも遊びに変えてしまう。



吹抜け：
1階と2階は大きな吹抜けでつながっている。下から見上げたり、2階の手摺から覗いたり、子供たちの視野を広げる工夫をしている。



子育て支援室2階全景：

天井一面に組んだ格子が大きな特徴。格子形状は凸凹しているため、それだけでも吸音の役割があるが、格子の上部に吸音材を敷いて、効果を高めている。格子の一部に天窓を設け、格子の隙間からの漏れ日が季節や時間の変化を伝えている。子供たちが木漏れ日の下に集まって遊ぶイメージをした。



子育て支援室1階全景：

床板に使用したのは大井川水系の桧材。ツルツルとした肌ざわりが特徴で、耐久性の高い素材。天井には、木毛セメント板の化粧材を使用。吸音材の役割をし、反響音や子供たちの声を吸収して和らげてくれる。

社会福祉法人青山会 たちばな保育園 子育て支援センターふれあいルーム

静岡県藤枝市上当間443-3
TEL 054-644-2522



子育て支援センターふれあいルームは、子育て中の親子の遊びの場、仲間づくりの場でもあります。土曜日、日曜日、祝日以外ほぼ毎日、9時半～12時、午後は1時半～3時半までご利用できます。月ごと、季節ごとの行事、専門講師によるベビーマッサージ等も開催しています。また、保育士もおりますので、育児相談も気軽にお声掛け下さい。室内は、ミニボルダリング、かくれんぼ、井戸端会議コーナーもご用意させていただきました。園庭も広く、遊具もいっぱいあります。何よりも爽やかな光と、木の温もりのある支援室です。森林浴気分を楽しみひと時をお過ごしください。是非お待ちしております。

仕様内容

建築面積	129.98㎡	意匠設計	有限会社こころ木造建築研究所
延床面積	191.4㎡	構造設計	株式会社核設計集団構造設計室
構法	在来工法2階建て	施工	株式会社阿部工務店
構造材	柱・梁：杉材・桧材 含水率20%以下(静岡県産材)	竣工	令和2年3月

木を現して使うと言うこと

子育て支援センターふれあいルームは、写真からも伝わって来るように、無垢材をふんだんに使って建築しています。構造材や床材、格子材のほとんどは、大井川水系の杉と桧が使われ、通常隠されてしまう構造材も現しているのが大きな特徴です。真壁構法と呼ばれる造り方で、民家を代表とする日本古来の構法です。木は建築材になっても変化し、夏は湿気を吸って室内はさらりと、冬は水分を吐いて室内の乾燥を和らげてくれます。木は人に寄り添い、木と人のちょうど良い関係が出来ていたのですが、いつのまにか構造材は隠され、床や壁はビニールで覆われた住宅や施設が多つくられるようになってしまいました。ですが、今回のような保育施設や高齢者施設などは、木の特性を生かした建物とする事が最も有効で、心地よく快適に過ごす事の出来る施設となると思います。木を現す事は簡単な仕事ではありません。木の生産者から施工者までの多くの手間を要し、大工の仕事もそのまま見えてきます。そして、作り手一人一人の技術や思いがそのまま現れる事で、大切な事を伝えていく事の出来る建物だと思います。私たち設計者も木を現して使う事の意味を改めて考え、木と人のちょうど良い関係をつくっていきたくと思っています。

元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしいお野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。
[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala_plus.kumi

e-chan farm (金谷) さん

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

動物性有機肥料(牛ふん、鶏ふんなど)を使っていない自然農法のお野菜の栽培をしている、e-chan farm(金谷)の加藤さん。ガッテン農法三浦章伸さんのセミナーに参加し、その時に食べたミニトマトがとても美味しく、『私もこんなお野菜を作りたい!』と思ったことから自然農法の野菜づくり・お米づくりを始めました。

現在は野菜やお米を作るだけでなく、B品野菜を使って金谷でお惣菜の販売もしています。また、アイデアマンで探求心のある加藤さんは山にある物や藁を使ってリース・お飾りを作ることもあります。毎年お正月用の「のし餅」も作ってくれ、美味しいと好評です。数年前まではイチジクやブドウも無農薬でつくっていたこともあります。畑を変えてから試行錯誤の日々ですが、野菜を食べたお客様から「エネルギーを感じた」と嬉しいお声。この時期は水菜・小松菜・大根、海老芋などが収穫されます。

自然農法の野菜に感動した加藤さんは、野菜を食べてくれるみなさんにも『土の力でミネラルたっぷりに育ったお野菜たち。甘みや香りも強く、それを感じてほしい』と思っています。そして、『一人でも多くの方がプランターからでもいいから、種をまき苗を育ててくれると嬉しい』と話してくれました。大地の恵みを受けた美味しい野菜たちをぜひご堪能下さい。



春キャベツのメンチ

- 1) キャベツを細かく切り(粗めでもOK)、玉ねぎはみじん切りする。
 - 2) 豚挽き肉と、水切りしてない豆腐、玉ねぎみじん切り、キャベツ、卵、片栗粉を入れ、塩コショウ、あれば醤油粒を入れて混ぜる。
 - 3) 丸めて水溶き小麦粉をつけ、パン粉をつける。
 - 4) 油で低温でゆっくり揚げて、最後は高温でカリッと揚げる。
- ※醤油粒を乗せて食べると最高です!



「ココラボ設置店」より...

こだわりのお店紹介

パンの材料屋 maman



ご家庭でパンやお菓子を作る方々へ、プロのパン屋さんやパティシエさんたちが使う材料を、使いやすいサイズでご提供する 材料屋です。初めてお菓子作りをする方、ホームベーカリーを買ったけれど何を用意したらよいかわからない初心者の方にも安心。簡単なレシピやキットも取り揃えております。

パンの材料屋 maman

静岡市駿河区桃園町8-10
[TEL] 054-256-1250
[OPEN] 10:00~18:00
[定休日] 日曜日
[SNS] instagram @maman_shizuoka

mamanさんからお知らせ

定番のタルトキットご案内

下のベースはこちらのキットを。タルトやアーモンドクリーム、カスタードがセットになったキットです。このキットと季節のフルーツがあれば旬のフルーツタルトが出来上がります。



焼き菓子と時間 テンテンカシテン



焼き菓子と一緒にゆったりと時間を過ごす、そんな時間の楽しみ方を提案するお店です。店内では、スパイスたっぷりの焼き菓子を中心とした季節の焼き菓子プレート等をお召し上がりいただけます。焼き菓子に合わせたオリジナルのブレンド珈琲や、スパイスや季節の果物を使用した飲み物と是非一緒に。ここらぼさんによっていただいた空間で、穏やかな時間をお過ごし下さい。

テンテンカシテン

藤枝市堀之内300-1
[TEL] 050-1158-8455
[OPEN] 11:00-16:00(L.O 15:30)
[定休日] 日・月曜日 [その他不定休はSNSにてお知らせ]
[SNS] instagram @tenten_kashiten

テンテンカシテンさんからお知らせ

金・土曜日は焼き菓子販売日

金・土曜には、葛飾区にある姉妹店「つかのま菓子店」の焼き菓子販売しております。スパイスやハーブ・酒粕など、めずらしい食材の組み合わせのお菓子が並びます。珈琲・紅茶はもちろん、ワインのおともにも。安心な材料を使用し丁寧に作られた焼き菓子。ご自宅でもぜひ素敵なお皿に盛り付けて、豊かな時間を。



KoKolaB.

隔月刊 ココラボ通信 No.89
2021年2月発行

発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかで申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

2021年がスタートし、今年は明るい年になることを誰もが望んでいると思います。子供も親も家にいる時間が当たり前となってきました。そんな中、暮らしにも変化が見られ、薪ストーブやお料理を楽しむ家、子供たちと庭の畑で野菜をつくりたり木工をしたりと、家での楽しみが広がっているようです。昨年完成した藤枝市のKさんのお宅にはテントサウナがありました。最近サウナにはまっている私は興味津々。「家が出来て、どこにも遊びに行かなくなりました。家が一番楽しい」との声。心地よい木の家の中に家族がいるのは、これまでは特別な時間だったのかもしれませんが。ポジティブなKさんを見習い、変化をチャンスに捉え、これからの生活を楽しみたいと思います。(山崎健治)



Information

🏠 島田市『育みの家』完成見学会を行います。

10月下旬に建前をした『育みの家』は、大きな吹き抜けがある子世帯と、コンパクト平屋の親世帯が中庭をはさみ、デッキで繋がる二世帯住宅です。二世帯住宅と言っても様々な形態があり、今回の様な横につながるプランは、お互いのプライバシーを尊重しながらも親子の気遣いの出来る住まいだと思えます。是非ご家族みんなでご覧ください。

◆ 日時：2020年3月13・14(土・日) 10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：島田市

🏠 静岡市駿河区 kokolab village 建設中

2021年の夏、静岡市駿河区に kokolab village が誕生します。Mさんの家(現在建築中)と、こころばの家、そしてもう一軒(住まい手募集中)で小さな街づくりを提案します。周辺に負担を掛けないプロポジションや、植栽を交えた豊かな外観、ライフスタイルを提案する小さなお店も計画。そこに家族はもちろん、地域の方と共に、心地よく暮らせる場をつくりたいと思います。工事中も家づくりを見ていただくイベントをおこなう予定。詳しくは右下のQRコードをチェックしてください。

※見学会の詳細情報はココラボホームページ[http://www.kokolab.jp]でお知らせします。

※コロナウイルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。



kokolab 公式LINE

『こころばの家』information

『こころばの家』では毎月テーマを決め、ココラボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

現在ご案内している教室・イベントにつきましては、開催の予定ではありますが、コロナウイルスの影響により中止、または延期になる場合がございます。変更の場合はFacebookとInstagramにてご案内いたしますので、そちらをご確認ください。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

3月

いろはワークスさん主催
腸詰めの会

3月26日(金) 10:00~13:00

便利で美味しいソーセージ。添加物なしで手作りできるのです。ソーセージ作りの楽しさもぜひ感じてください。出来具合によりますが、ソーセージは一人10本前後になります。ソーセージ、スープの持ち帰りありますので容器をご用意ください。

[参加費]3,800円

[申込] Facebook 又は Instagram の @tsunaguiroha から



4月

さじかげんさん主催
季節のジャム教室

4月30日(金) 10:00~12:00

4月はキウイとレモンのジャムです。おいしいジャムをさじかげんのレシピと一緒に作っていきましょう。出来上りのジャム1瓶と藤枝のブランジェリモザイクさんのお土産付。

[参加費]3,000円

[申込] sajkagen@hotmail.com



BREAD Lab conocaさんの
パン教室&パンの販売

★天然酵母で作るパン教室を開催します。

3/16(火) クランベリーとクリームチーズのプチパン

4/20(火) セサミチーズ

[申込] takazou1916@gmail.com

ご希望の開催日5日前までに、お申し込みください。

★月に一度のパンの販売日 11:00~ 3/12(金)、4/9(金)



◆ 場所：『こころばの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebook「KoKolaB.」、instagram「kokolabnoie」でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどでお気軽にご連絡ください。